

大泉あさひで通信

発行：社会福祉法人 大泉旭出学園 旭出生産福祉園 〒178 - 0063 東京都練馬区東大泉 7 - 21 - 32
Tel 03 - 3925 - 6166 Fax 03 - 3925 - 6169 HP <http://www.asahide.or.jp/>

旭出生産福祉園 設立40周年



紙工科の車を運転する浅井園長
(昭和 46 年頃)



紙工科のようす
(昭和 52 年頃)

社会福祉法人をめぐる現状

旭出生産福祉園園長

浅井 浩

◇社会福祉法人の行う事業と状況の変化

大泉旭出生産福祉園が、社会福祉法人の認可を受けて「旭出生産福祉園」を開設して事業を開始してから40年が経ったわけですが、今、社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化しており、いろいろなことが取り沙汰されています。

昭和26年の社会福祉事業法（現：社会福祉法）の制定により、国及び地方公共団体と民間とが一体となつて社会福祉事業に取り組み、組織として、民法で規定された公益目的の法人よりも公益性の強い社会福祉事業を行う特別法人として「社会福祉法人」の制度が創設されました。この社会福祉法人に対して本来的には国家的責務として実施すべき福祉事業を、法律に基づく行政の措置として委託し、その事業運営に必要な経費を公的資金から「措置費」として投入する仕組みが措置委託制度（措置制度）です。

この社会福祉法人と措置制度の仕組みが戦後日本の社会福祉行政の進展に果たしてきた役割は大きく、特に障害児・者施設の整備を図る上で貢献してきたことは確かです。

しかし戦後から時が経ち、制度の形骸化や、社会的変化に伴う福祉ニーズの多様化などを踏まえ、これまでの福祉施策の見直しが必要だといふことになりました。その見直しというのが「社会福祉基礎構造改革」です。改革の考え方には市場原理も導入され、社会福祉法人はこれまでのような行政の措置に従う事業の「運営」ではなく、サービス利用者との契約により事業を行う「経営」という考え方への転換が強く求められることとなりました。

社会福祉法人の行う事業の特徴は社会福祉法

に則った公益性と非営利性にあります。

社会福祉法は、福祉事業を第一種社会福祉事業と第二種社会福祉事業に分けて規定しています。第一種社会福祉事業は、障害者支援施設の経営や特別養護老人ホームなどの経営で、利用者の生活の大部分に影響が及ぶ事業であり、その継続性や安定性を確保するため国及び地方公共団体と社会福祉法人が経営することを原則としています。第二種社会福祉事業は、障害児のための通所支援事業や相談支援事業、老人デイサービス事業などで、第一種事業よりは利用者への影響が比較的小さいということから、公的規制もそれほど厳しくはなく、営利業者等も届け出により事業への参加が可能です。

いずれにしても、社会福祉法人の行う事業は社会福祉法に則ったものです。社会福祉法人は社会に貢献することを前提に明確な事業目的と事業を遂行しうる厳格な資格条件を備えた上で認可された法人として位置づけられてきたはずですが、今その状況に変化が生じています。

◇今、社会福祉法人に求められていること

営利目的の事業でも非営利の事業でも、その事業をいかに維持し、発展させていくかという点では経営管理の基本は同じだと思います。しかし社会福祉法人の事業経営は、公費（税金）によって成り立っている点に大きな特徴があり、その点を踏まえた経営でなければなりません。

朝日新聞は、社会福祉法人は現在、2万法人近くあるとして今年の5月から、かなりの紙面を割いて社会福祉法人に関する特集記事を掲載しています。おそらく多くの人々がその記事を目にしたことと思います。

朝日新聞の記事のようなことが社会福祉法人のすべてでは決まっていなくても、その存在意義に関わる問題提起として受け止め、社会福祉法人制度創設の経緯とその意味を改めて考えて

みるということが大切だと思います。

厚生労働省は、昨年（平成25年）の9月に、「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」を立ち上げ、さらに社会福祉法人は公益性の高い社会的責任の大きい法人だということで、「社会福祉法人の認可について」の一部を改正（平成26年5月29日）しました。そして、その経営に関する財務諸表等をホームページ等で公表することを義務付けました。

社会福祉法人の在り方等に関する検討会は、今年の7月4日付で公表した報告書の中で社会福祉法人には補助金や税制優遇といった公的投資もなされていることから、地域における公的法人であるとしてその役割を再認識すべきだと次のようなことを挙げています。

①社会福祉法人そのものが地域の公的な資源であるため、社会福祉法人には、自らの資源を活かして、地方公共団体との間に立ちネットワークをつくっていくなど、まちづくりの中核を担うような事業運営が望まれる。

②地域住民と地方公共団体との間をつなぐためには、地域の多様なニーズを汲み上げ、地域ニーズを反映したサービス提供を行うなど地域における信頼を確保する仕組みを強化していく必要があるが、社会福祉法人には、地域の意見を反映する仕組みが十分とはなっていない部分がある。

③社会福祉法人はその公的な性格を再認識し、また、官民の両方の性格を持つ者として、地域のまちづくりの中核的役割を果たせるよう、事業運営の内容や新たな事業展開、組織体制などについて、積極的に利用者、地域住民等の参画や情報提供を進め、地域住民の信頼を得ていくことが求められる。

これらのことを社会福祉法人に求めるのはよいと思います。しかしその前提として、文化国家としての日本の社会福祉や社会保障についての明確な考え方や在りようそのものが問われるべきではないかと考えます。

旭出生産福祉園40周年

ともに歩んで

保谷文子

旭出生産福祉園は、今年で40周年を迎えました。現在福祉園のある場所は、竹中土木の資材置き場でした。

かつては畑が広がったところが住宅地化してきて、資材運搬の車の出入りが難しくなり、移転を計画しているらしいという話を耳にした三木先生が土地所有者の竹中工務店に授産施設設立の説明に出向き、持ち前の粘り強さで交渉を重ねた末、昭和49年2月大変好意的な条件で土地5000m²を譲りうけることができました。そこに残されていた建物を利用して社会福祉法人大泉旭出学園「旭出生産福祉園」が開設されました。この当時を知る人は職員では浅井園長一人になりました。

私はその2年後に旭出養護学校さつき寮に寮母として入職しました。その当時さつき寮を利用していたのは福祉園のメンバーでした。昼は福祉園で作業をし、生活の場がさつき寮でした。思い出せば、浴室も1か所で男女交代に入っていたと

思います。51年の12月にはさつき寮の利用者さんと職員の全員で新しくできた福祉園の寮に移り住みました。それまで通所施設だった福祉園が入所も開設した時です。園内はまだ本館と寮の建設工事の後で轍がひどく作業棟は建材棟と紙工棟だけでした。新しい建物はさつき寮と比べると食堂や浴室も広く遠く感じました。4月からは新しい職員が2名増え、40人の利用者さんに職員7名での生活が続きしました。2名のうちの一人が西塚施設長です。そのころの通所は40名定員ですから、入所通所各40名全員で80名でした。日中の男性作業職員が交代で入浴などの手伝いに入っていました。昭和53年に木工棟54年に陶芸棟が完成し学校の中から引越してきました。それで現在の建物の配置になりました。

まだ全体の年齢も若くよく働き余暇には音楽に合わせて元気に踊っていました。スポーツも盛んで土曜日は午後まで活動しているグループもありました。

昭和56年に寮の増築で定員が15人増え55人となりました。その時から寮にも男性職員が勤務するようになりました。福祉園が始まり

10年目の記念誌には早期老化のことが取り上げられています。老化が現実になってきたのは2段ベッドの上段を利用できない人が増えてきた頃です。

そのような時、保護者のご厚意で新入所棟の建設を行い、個室と2人部屋の寮ができました。パン作業もはじまりました。平成14年のことです。このあたりから利用者さんの老化とも向き合う日々が始まりました。

それまでの作業意欲を高め、生活に目標を持たせ、作業態度を作っていくことにより社会生活に参加を図ることを目標にしてきましたが、その延長線上に健康な生活の継続と晩年をどう過ごすかということも加わりました。

平成23年から事業体系が変わり授産施設から生活介護施設になりました。これまで続けてきた作業も大事にしながら、どんなことを取り入れることが利用者さんの生活にとって、より充実したものになるのかを試行錯誤しながら、一人一人のかげがえのない人生を共に歩みます。50周年に向かっていきたいと思

一部旭出学園50年の歩みより引用

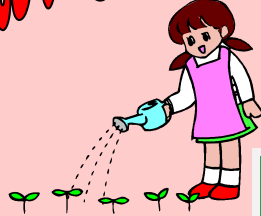
ゴーヤ日記

前回のあさひで通信にてお伝えした
ひだまりの活動「ゴーヤ栽培」続報です。

芽が出たよ！

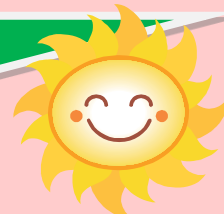
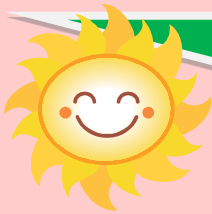


おいしくな~れ！



芽が出始めたときは感動しました。
そして、はじめはこんなに小さかった
ゴーヤたちが毎日の水やりと皆の愛情で
…なんと

成長！



こんなに大きくなりました。
夏の日差しも避けることができるほ
ど、きれいな緑のカーテンになりました。

小さな黄色い花が咲き、実がどんどん
大きくなり沢山のゴーヤが育ちました。
調理にお願いし夕飯で出してもらっ
たこともありました。

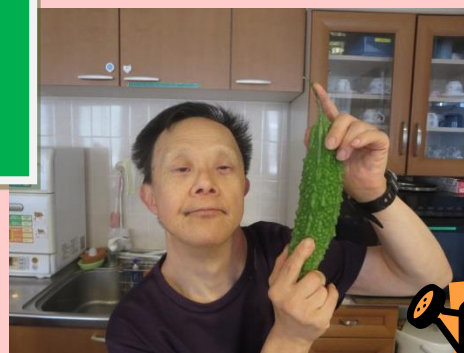
収穫！

大きいのがとれました

調理



にがい！
もう一杯！



来年もぜひチャレンジしたいです。
美味しいゴーヤたくさん作るぞ！

ゴーヤチャンプルーにがーい！！
でも、やみつき！！



納涼会

今年の納涼会は新しい試みとして日中の時間帯に行いました。
日中に行うことで時間に余裕を持ってゆつたりとできました。
恒例の盆踊りや模擬店、カラオケ大会などを楽しみました。



盆踊り



一緒に
食べよ



カラオケ大会



大泉高校ブラスバンド部



今回は大泉高校ブラスバンド部の
方々がボランティアとして参加し、行事
を盛り上げてくれました。
「勇気100%」「千と千尋の神隠し」
「タッチ」「銀河鉄道999」
などの様々な曲を演奏していただきました。



飛び入りで
演奏の指揮を
してくれまし
た。
ノリノリ
です。



チャリティーコンサート
10月4日(土)に六本木ヒルズで行わ
れたチャリティーコンサートに行つてき
ました。
☆参加者コメント☆
『千の風になって』や、『ふるさと』を
みんなで歌つてとても楽しかったです」



ドレミファダンスコンサート
6月28日(土)に渋谷公会堂で行われ
たドレミファダンスコンサートに参加し
ました。
ダンスを観たり音楽を聴いたり一緒に
踊ったりと、皆で一体となってコンサ
ートを楽しみました。

祝 旭出生産福祉園 創立40周年記念祝賀会



社会福祉法人 大泉
旭出生産福祉園 旭出生産
福祉園が40周年を迎えま
した。福祉園では、利用
者・職員全員で、ホテル
カンツァア光が丘にてお
祝いの食事会を行いました。
祝賀会の担当者は、
半年前から内容の計画を
行い、みなさんに楽しく
過ごしてもらうにはどう
いうプログラムにしよう
かと、話し合いを何回も
重ねました。
当日は園長の挨拶から
始まり、職員と利用者
代表から福祉園での思い
出を交えた話が聞かれ、
一緒に過ごした日々を
思い出される方も多かつ

スライドショーや編集動画では、
40年の歴史が映し出され、利用者の
若い時はもちろん、職員も若く、今
では見られない出し物を一生懸命
行っている姿を懐かしく思いまし
た。また映像を見ながら今までの
生活や活動を想い出し、感極まって
涙を流される方もおられ、私はまだ
10年足らずの職員ですが、40年とい
う歴史は偉大な事なのだと感じま
した。
職員の知人にバイオリニストと
チェリストがおり、会場での演奏を
引き受けて下さる事
になりました。生の
演奏はなかなか聴く
機会がない
ですが、
『上を向い
て歩こう』
や『さんぽ』
等の知って
いる曲が流
れると歌い



たのではない
でしょうか。
映像を楽しめ
る方が多いの
で、スクリー
ンを利用した、

出し、一体となり楽しまれていまし
た。その他にもクラシックを幾つか
選曲してくださり優雅な時間を過
ごし、話題の『アナと雪の女王』の
演奏で盛り上がりました。
食事はお弁当形式で、好きな人も
多いハンバーグやエビフライ、その
他にも肉や魚、そば等、最後には
苺のショートケーキを頂きました。
どのテーブルからも「エビフライが
おいしかった」や「ケーキが好き」
と感想を聞かせてくれました。
調理職員や事務
職員も一緒に、
200人弱の大所帯で、
移動の為のバスに乗
る事だけでも大騒ぎ
でしたが、今までにな
いとても貴重な経験
となりました。(石川)



旅行会

今年の旅行会は、1泊2日と日帰りを希望で選んで頂きました。日帰りの藤子不二雄ミュージアムは、皆さんにも馴染みのキャラクターも多く、カフェでは見た目も味も楽しむことが出来ました。

1泊2日の組は、海ほたると鴨川シーワールドに行きました。以前にも行ったことがある場所なので皆さん慣れた様子で見て回り買い物も楽しんでいました。夜は、宴会でカラオケを熱唱しました。

2日目の鴨川シーワールドでは、ショーを見てイルカやシャチの大ジャンプに大盛り上がりでした。



海ほたるにて



鴨川館で宴会



鴨川シーワールド



日帰り旅行班は！
藤子不二雄ミュージアム

音楽鑑賞会

9月11日、練馬区交響楽団訪問演奏「ミニ・コンサート」が園内で行われました。今回はバイオリン3名ビオラ1名チェロ1名の4名の方に来ていただきました。

楽器の紹介から始まり楽しく話しかけてくださる団員さんに打ち解け、なじみの曲を主体に全12曲もある素晴らしいコンサートでした。皆さんも大きな声で歌い、気持ちのいい時間になりました。

練馬区交響楽団の方々、楽しい時間と素敵な音色をどうもありがとうございました。



草木染



染織工芸科が草木染をおこないました。藍の生葉を使って染め上げるのですが、藍の生葉を使うのは今回が初めてでした。

朝から藍を刈、葉と茎を分けるだけでひと苦労することが藍の生葉染めの第一ステップです。利用者の方々も根気よく取り組み、必要な量の葉をそろえることが出来ました。

次のステップは葉をよくもんで葉のエキスを抽出することが必要になります。生葉染めは一日がかりの大仕事です。仕上がりは皆さんがイメージする藍より淡くコバルトブルーになりました。

染め色はその時の進め方で変化しますが、緑色の液に染まった糸が輝く青色に変色すると、自然が作り出した色なのでとても感動します。朝から努力したかいがありました。



『みなさまからのご支援ご協力に厚く御礼申し上げます』

この広報に記載されておりました、
ご寄付を頂いた方のお名前の一覧は、
ホームページに掲載するにあたり、
伏せさせて頂きました。ご了承ください。

後援会ご寄付ご芳名一覧（順不同）

平成二十六年四月～平成二十六年九月末まで



大泉旭出学園の事業につきましてはご高配を賜り感謝、お礼申し上げます。
特色ある独自性を発揮した事業展開とその充実を図っていくためには経営基盤
を固めていく必要があります。さらに多くの方々に後援会の会員になっていただ
きたく、会員の方々にはお知り合いなどにご紹介いただけたら幸いに存じます。
より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



編集後記

今年度「社会福祉法人大泉旭出学園」
は設立40周年を迎えました。ちなみに
利用者に人気のある「ハローキティー」
や「モンチッチ」のキャラクターも
誕生40年。他に「明治ブルガリヤヨー
グルト」も発売40周年です。旭出生産
福祉園も地域に根ざし愛されて40年。

よてい

「勤労感謝祭」・・・11月22日(土)
「クリスマスフェア」・・・12月10日(水)～
12日(金)
「入所部クリスマス会」・・・12月20日(土)
「年末年始休暇」・・・12月29(月)～
1月2日(金)